

平成 28 年 1 月 12 日  
記 者 発 表

## 人工産卵・ふ化させた“スマ”が出荷サイズに成長！ 全国初となる全身トロのスマを出荷

県水産試験場、国立大学法人 東京海洋大学、株式会社丸東<sup>まるとう</sup>（串本）の研究グループは、大変美味でありながら日本ではほとんど漁獲されないため、幻の魚と呼ばれる“スマ”の種苗生産技術を開発し、養殖試験を実施してきました。



このたび、昨年夏に人工的に産卵・ふ化させ、海上生け簀で飼育してきたスマを、目標とする出荷サイズ（全長 45 cm）と味（全身トロ）に到達させることに成功しましたので、（株）丸東が**東京、大阪、和歌山に出荷**し、市場の評価を確認します。

本成果によって人工種苗を用いたスマの養殖が普及し、本県養殖業の振興につながるものと期待しています。

### ○農林水産業競争力アップ技術開発事業

研究テーマ：新養殖魚「スマ」の種苗生産技術の開発（平成 25～27 年度）

目的：本県養殖業は、飼料費高騰や主力であるマダイの魚価安等により低迷しています。

そこで、養殖の新たな有望魚種であるスマについて、種苗生産技術を開発し、養殖業の経営安定を図ります。

### ○研究成果

県水産試験場、国立大学法人 東京海洋大学、株式会社丸東は、平成 25 年度に日本で初めて、スマ養殖のための種苗の量産技術を開発しました。平成 26 から 27 年度には、生産した人工種苗が越冬に成功しました。

その後困難を伴いましたが、人工産卵・ふ化させたスマが、今冬 11 月には出荷サイズに達しました。

今後は、種苗生産の低コスト化等に取り組み、スマ養殖の普及を目指します。

★スマ養殖研究の歴史を動画をまじえ公開しています（水産試験場ホームページ）

[http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071001/sub2\\_3suma.html](http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071001/sub2_3suma.html)

### ○出荷について

- 出 荷 先：
- ①日本橋三越本店 吉川水産（東京）
  - ②阪急うめだ本店 まぐろ寺本（大阪）
  - ③和歌山マリーナシティ 黒潮市場（和歌山）

販売予定日：平成 28 年 1 月 16 日（土）

お問い合わせ先

研究推進室 岩本（電話 073-441-2995）

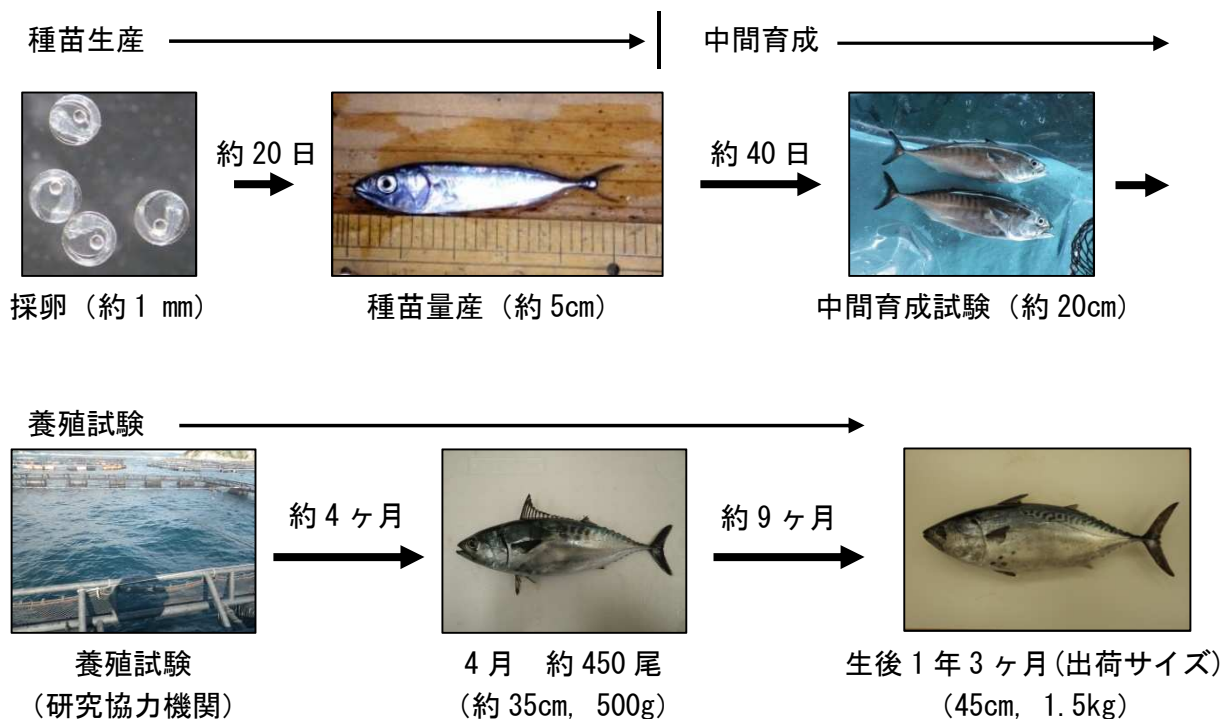
水産試験場 奥山（電話 0735-62-0940）

○成果の概要

年度	実績
H25	・日本で初めて、スマ人工種苗の量産化に向けた技術開発に成功
H26～ 27	・日本で初めて、スマ人工種苗が海上生け簀での越冬に成功 (450尾) ・11月 100尾生残を確認 (身質が出荷可能な状態であることを確認)

【開発した技術のポイント】

- ・種苗生産：シロギスやイシダイとの混合飼育で給餌量の適正化を図るとともに、共食いを抑制  
餌の工夫(生餌利用)で体力アップし、越冬に成功
- ・養殖試験：給餌方法を工夫し、出荷サイズに到達



○今後の課題

- ・種苗生産の低コスト化
- ・沖だし後の生残率の向上 等